

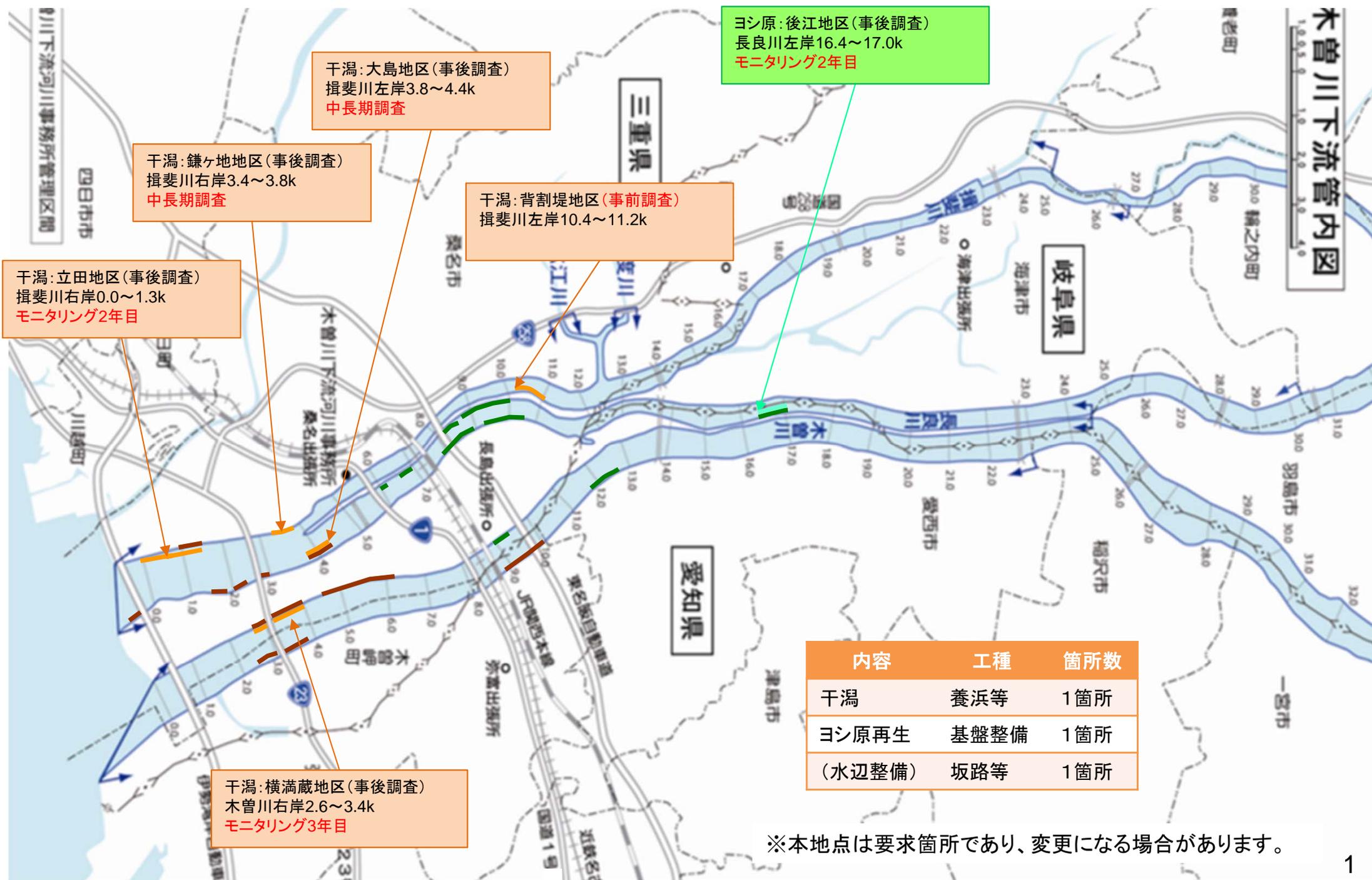
第11回 木曾三川下流域自然再生検討会

【平成31年度の取り組み(案)について】

平成31年3月28日

国土交通省 木曾川下流河川事務所

2019年度(H31)の取り組みについて(案)



【参考】平成31年度 モニタリング項目

■自然再生計画書に基づいたモニタリング内容を、平成31年度も継続して実施する。

表-4 平成31年度の調査地区・調査項目・調査時期・調査回数

調査区分		調査項目	(測量)	水質	底質	魚類	底生動物	陸上昆虫類	哺乳類	鳥類	ヨシ生育調査	
ヨシ原		調査時期・回数	ヨシ生育調査時:1回	水文水質観測のデータ等を活用	夏期～冬期:2回	8月:1回	8月:1回	8月:1回	11月:1回	6～7月:1回	8月:1回	
	事後調査 2年目	後江地区 長良川左岸 16.4～17.0k	○	—	—	○	○	○	○	○	○	
調査区分		調査項目	測量	水質	底質	魚類	底生動物	(陸上昆虫類)	(哺乳類)	鳥類	(ヨシ生育調査)	
干潟		調査時期・回数	出水期後:1回	水文水質観測のデータ等を活用	夏期～冬期:2回	夏期-8月 秋期-9～10月 :2回	夏期-8～9月 冬期-12～翌2月 :2回	干潟再生地区は該当しない	干潟再生地区は該当しない	秋期(秋の渡り)-9月 冬期(越冬期)-12月～翌2月:2回	干潟再生地区は該当しない	
	事前調査 —	背割堤地区 揖斐川左岸 10.4～11.2k	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
	事後調査	2年目	立田地区 揖斐川右岸 0.0～1.3k	○	—	○	○	○	—	—	○	—
		3年目	横満蔵地区 木曾川右岸 2.6～3.4k	○	—	○	○	○	—	—	○	—
		中長期	大島地区 揖斐川左岸 3.8～4.4k	○	—	○	○	○	—	—	○	—
中長期	鎌ヶ地地区 揖斐川右岸 3.4～3.8k	○	—	○	○	○	—	—	○	—		

2019年度(H31)の取り組みについて(案)

■自然再生事業について

- 自然再生計画書に基づき、施工を推進し、モニタリングを実施する。
- 生態系ネットワークを推進する。

■地域との連携について

- 愛知黎明高校(出前授業・ヨシ原再生モニタリング・河川環境保全モニターとの連携)
- 河川環境保全モニターとの協働によるヨシ観察
- イベントにおけるパネル展示などの啓発活動(新規)

ヨシ生育簡易モニタリング



河川環境保全モニターとの協働



パネル展示 (イメージ)



2019年度 (H31) 工事实施時の留意事項

■ 施工時の留意事項

- 水際の施工を実施する際は、汚濁防止フェンスを張り、濁水の流出防止に努めます。
- 施工時期については、シジミ漁・海苔漁に影響の少ない期間とし、事前に漁協などと調整します。
- 事前モニタリングの結果より、移植の必要な植物や動物が確認された場合は、学識者等に確認し保全に努めます。

■ コスト縮減

- 養浜材については、改修工事など他事業で発生する浚渫土を活用することとし事務所内での連携を図り、処分費の軽減および材料費の低減を目指します。

汚濁防止措置



汚濁防止フェンスの設置による濁水対策の実施

コスト縮減



河道浚渫イメージ



浚渫土の有効活用

2019年度 (H31) 地域との連携(愛知黎明高校)

ヨシ苗移植



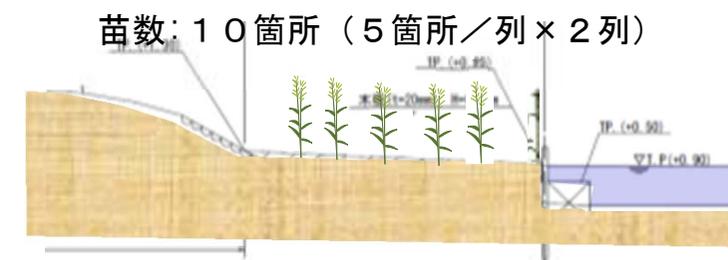
■長良川におけるヨシの生息適地検証の目的

- 物理環境を把握し、長良川のあり方検討の基礎資料とする。
- 他工区で実施するヨシ原再生の基礎資料とする。
- 愛知黎明高校(自然探求コース)の授業に活用し、河川における環境保全、生態系、ものづくりに興味を持ってもらう。

A~D
(TP0.80)



E~H
(TP0.95)



I~L
(TP1.10)



■条件設定

- H30に基盤整備した箇所を活用する。
- 水際高さを3区分(TP0.80m、0.95m、1.10m)に設定した。
- 基盤を水平設置と勾配ありの2種を設定した。
- 3×2の6フィールドでヨシ原再生を行う。

■観察手法

- D、H、L区の水際からほぼ等間隔2列にヨシ苗を移植し、生育状況を確認し、長良川におけるヨシに適した環境を推定する。
- それ以外の区は、当面ヨシを植えず、種子や地下茎の侵入などによる再生の確認を行う。
- 生徒により、月1回の観察を行う。
- 横断測量出水後に行い、断面形状の変化を確認する。